

2022 年度産学官連携による農・食・健康に関するシンポジウム

近年、農と食・健康に関するリスクが増大しています。例えば、①グローバル化の農・食への影響、②農薬や有害物による食品汚染、③高齢化と農業従事者不足、④都会と農村の格差増大、⑤異常気象による農業への影響、などです。その対策として、革新技術(遺伝子・ICT・AI・ロボット)を駆使した「スマート農業、食の安全、持続可能な農業」が注目されています。そこで、産学官の関係者から農・食・健康に関する最新の情報を発表して頂き、日本の農業の発展、強いては農・食・健康を通して「世界平和と国民の幸福の構築」に貢献できることを期待しています。

*****記*****

1. 開催日時:2022 年 1 月 22 日(土)13:15~17:00 (13:00から受付開始)

2. 開催場所:原則として ZOOM 参加、例外として J-SCORE 事務所の参加を先着順 15 名とします。

※Zoom 参加は、前日(2022 年 1 月 20 日)までに申し込まれた人へ事務局から招待メールを送信します。

3. 主催:(社)日本シニア起業支援機構(略称 J-SCORE) 未来農林事業開発研究会

後援:(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF)

4. セミナー内容(スケジュール、テーマ、講演者氏名)

【司会者】森山浩光(未来農林事業開発研究会 副会長)

【挨拶と研究会の紹介】松井武久 J-SCORE 代表理事(未来農林事業開発研究会 会長)・13:15~13:30

【講演】…所要時間 各講演「説明 25 分+質疑 5 分=総時間 30 分」……………13:30~17:00

◆講演1:「農研機構の紹介」……………13:30~14:00

講師:田中康治 様: 農研機構 広報部長

◆講演2:「バイオマス活用に関するトピックス」……………14:00~14:30

講師:柚山義人 様 (一社)日本有機資源協会 専務理事

◆講演3:「農林水産省「知」の集積の場・産学官連携協議会活動の紹介と

機能性大麦(もち麦)による農・食・健康への取組み」……………14:30~15:00

講師:森京子 様 (一社)健康長寿実現推進機構 統括室長

……………休憩……………15:00~15:10

◆講演4:「農産物の輸出に向けた長期品質保持を

実現するカテキン・酸素水ナノミスト技術の開発」……………15:10~15:40

講師:川上茂樹 様 大阪大学准教授

◆講演5:「電解電子機能水の活用による世界的農業改革」……………15:40~16:10

講師:太田雄一 様 JWS インターナショナル(株)代表取締役社長

◆講演6:「日本の間伐材を活用した木製農業施設の開発と事業化について」……………16:10~16:40

講師:阿川正 様 WIZARDAGRI 代表

【閉会に挨拶と連絡事項】森山博光(未来農林事業開発研究会 副会長)……………16:40~17:00

5. 会費:セミナー参加費

◆会場参加者:事務所経費とテキスト代

□会員:1000 円、□後援者:1500 円、□事業協力契約先:2000 円、□一般参加者:3000 円

◆Zoom参加:全員無料

※テキスト代:会員は HP から無料でダウンロード

:非会員は 1000 円を指定銀行口座に振り込まれた人に、メールにてPDFファイルで送付します。

6. 懇談会:セミナーの終了後、Zoomで行います。……………17:10~18:30

◆参加者による自己紹介(氏名、職業)と農・食・健康についての意見交換(抱負と提言)

7. 申込方法:原則として一般社団法人日本シニア起業支援機構のホームページから申込下さい。

※ホームページが使用できない人は、次頁の参加申込書に必要な事項を記述しシンポジウム事務局へ送付下さい。

2022 年度産学官連携による農・食・健康に関するシンポジウムの申込書

シンポジウム事務局 宛

2022 年 1 月 22 日(土)開催のシンポジウムに下記の通り参加を申込ますのでよろしくお願い致します。

◆申込年月日: 年 月 日

◆氏 名(ふりがな):

◆所属・役職名

◆連絡先

・Mailアドレス

・電話番号:

(注記)

連絡先は J-SCORE の主催する行事等の案内に使用させて頂きます。それ以外の用途には使用しません。同意を前提に記述ください。

◆懇親会参加・不参加

【シンポジウム事務局】 Mailアドレス<office@j-score.or.jp>
電話:090-7008-6065

以上